



RESTART
Challenge More.

ゆうばり 市議会だより

50号
2021.2

令和3年開園の認定こども園視察にて



新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、雇用問題等さらなる課題に立ち向かわなければならぬ状況下となった2021年、議会も夕張市のために全力を尽くします！

【令和2年第4回定例会市議会】

令和2年第4回定例会市議会	
地区懇談会レポート	……P2
一般質問（君島孝夫）	……P3
一般質問（熊谷桂子）	……P4
一般質問（今川和哉）	……P5
認定こども園視察報告	……P6
編集後記	……P6

令和3年も早1ヶ月が過ぎ、本年が市民の皆様にとりまして、希望のもてる年となりますことを願うものであります。

昨年は新型コロナウイルス感染症の対応・対策が求められ、議会の活動も皆様のご理解ご協力を頂き取組めたことに感謝を申し上げます。全国の感染状況はまだまだ終息を見通せるものではないため、今一度予防対策を徹底することが必要です。また、経済活動や市民生活へ与える影響も大きいことから、昨年に引き続き優先順位を見定めての施策が必要と認識しております。

昨年の市内企業の人員削減、工場の閉鎖方針、リゾート廃業は従業員の皆様、市民生活及び今後のまちづくりに支障をきたすものであり影響を最小限に止める努力を議会の役割とし協議、議論を加速して参ります。

夕張市議会議長 小林 尚文

令和2年第4回定例会 令和2年12月3日～12月15日

令和2年第4回定例市議会は、令和2年12月3日から12月15日までの13日間の日程で開催しました。
熊谷桂子、今川和哉、君島孝夫の3議員が一

般質問を行い、本会議において「夕張市財政再生計画の変更について」など議案11件、報告4件、意見書案1件の計16案件について審議し、原案のとおり可決いたしました。

意見書

●経営所得安定対策における「子実用とうもろこし」の適用拡大を求める意見書
提出議員：君島、大山、本田、千葉、熊谷、高間、今川

夕張市まちづくりマスタープラン見直し及び夕張市立地適正化計画策定地区懇談会

※夕張市まちづくりマスタープラン見直しに関する「地区懇談会」が十月十二日・十二月九日・十日行われました。現在のマスタープランは策定から八年が経過しました。「安心して暮らすコンパクトシティゆうばり」の実現に向けて、お住いの地区の将来をどのように考えていくべきか、市民の皆さんのご意見ご提案をお聞きして計画見直しを行うための地区懇談会に出席しました。

【市民の意見】

市役所四階会議室
十月十二日
○末広地区に市営住宅が沢山あるが人口減少に対して何か手当をする事で住み続ける事ができないか考えて頂きたい。
○本町地区を夕張の歴史として残すと言っていたが見えてこない。
○バスが博物館まで伸びたことは評価するが公衆トイレを作って欲しいとの要望がまだ実現していない。
○石炭大露頭前のフェンスがあり大露頭が見えない、部分的にフェ

ンスを取外し見えるようにすると良いのでは。
○鹿鳴館について↓見学に来られた旅行者がいた。現状どうなっているか知りたい。
○複合施設「りすた」バス待ちの子供達の為に（空いた時間）何か出来ないか。
【市民の意見】
はまなす会館
十月十二日
○石炭博物館模擬坑道修復について夕張には元炭鉱夫の方が居るので修復について意見を聞くべきだ。
○子供達の教育に力を入れるべきだ夕張の歴史を子供たちに伝える事。
○地域コミュニティを守る↓地域コミュニティ崩壊が目前に有り手遅れにならないうちに手を打って欲しい。
○他市町村から夕張に通勤されている人の意見を聞いた上で夕張に住んで頂いたらどうか。また夕張を知り尽くした方々の知識を活用してはどうか。

【市民の意見】
農業研修センター
十二月九日
○行政としてのアイデアを示し、どうしたいのか聞いて欲しい。人口減少を考えながら、高齢になってから移住して欲しいと言われても動けない。住民感情としては、市外から通勤されている職員が多い中で、公営住宅・市営住宅等に入居できない（収入制限）話をされても納得できない。
○住宅を整備して市外から通勤の職員にお願いして夕張に住んでいただきたい。
○JR駅の跡地の整備と活用についてどう考えているのか。
○コミュニティバスで通院や買い物に行けるよう考えて欲しい。
○公営住宅の入居ストップ後、解体しその後地をどうするのか聞きたい。
○防災については市が先行してやってくれないと地域だけではできない。
【市民の意見】
紅葉山会館
十二月九日
○紅葉山の将来が気になる、官民一体となってまちづくりが必要。
○紅葉山地区は道東と

道央を結ぶ中継地点であり他のまちより有利ではないか。
○紅葉山高台の市営住宅周りの雑草が茂っている。将来、解体後に跡地利用を考えて、独身住宅などを建設してはどうか。
○滝ノ上は、光回線が入っていない、若い人が居るので入れて欲しい。
○石炭博物館模擬坑道の湧き水を利用する考えはないか。
【市民の意見】
拠点複合施設「りすた」
十二月十日
○生協が清陵地区から南清水沢に移転後のバスダイヤを考えて欲しい。
○シューパロダムから発電する電気代の一部を夕張市民に還元できないか。
○シューパロダム活用（観光・酒蔵庫など）
○複合施設「りすた」周りに公園を兼ねた広場があっても良いのではないか。
○熊の出没ニュースなどの連絡手段が必要。
○災害時に一人暮らしの高齢者の避難場所が必要。

○猟友会の活動はどうなっているか、駆除対策に力を入れて欲しい。
○避難所で使用するダンボールベットの数は大丈夫か。
○複合施設「りすた」使用料金が安いのでボランティア、趣味などに利用している。
○南部から参加、他にも参加したい人達が居たが足が来られない、今後地区懇談会は地域に来ていただけなのか。
○南部の方↓若い人は数えるほどしか居ない（小学生七・八名、中学生二・三名）夕張川とか自然を生かした何かをしたいと思ってもやる人が居ない。現在住んでいる人は先々のことまで考えていないのでかまわないで欲しい。またデマンド交通バスは当初自宅前まで来てくれると言っていたが、バス停まで行かないと乗れない、見放されているのではないか。
※市長の市政懇談会は二月に予定している

本市における町内会などの地域コミュニティについて



君島孝夫

君島

高齡化社会
地域コミュニティの重
要性が再認識されてき
ているが本市では人口
減少や高齡化により町
内会の存続が難しい、
町内会など地域コミュ
ニティ存続のため行政
として側面から支援し
て行くことが必要では
ないかと思うが、市長
の考えを伺います。

市長 各町内会活
動において
様々な課題に直面して
いる生活館やコミュニ
ティセンターを運営す
る指定管理者との意見
交換と全町内会長に現
状と課題についてアン
ケート調査を実施した
結果、
①町内会の会員減少、
役員の担い手問題、資
金難と事業の縮小な
ど。
②町内活動の継続性に
対する不安と生活館、

コミュニティセンター
運営継続性への不安。
③生活館、コミュニテ
ィセンター避難所機能
の不備に対する不満な
ど。他地域の事情に則
した課題について認識
をし、改めて行政と地
域との対話の必要性を
感じたところではあり
ます。この状況を踏ま
え、自主防災力の向上
に今年度十月補正予算
において、発電機や投
光機等の備品購入のた
め、算入した上で年度
内の設置を行います。
来年度から各地域と
防災事業に於ける連携
を進めて参りたい。ま
た、必要な支援の見
直しや生活支援サポー
ト機能との連携を図り
地域コミュニティの維
持に努めて参ります。

君島

町内会な
ど地域コ
ミュニティへの加入促
進について「町内会の
手引き」を作成し町内
会広報活動を支援して
いる例もある。

現在ある地域コミュ
ニティを活性化させる
ためにも加入を促進し
広報活動啓発活動の支
援が必要と考えるが市
長の考えを伺います。
市長 地域活動
の見える
化やその活動への共感
作りが重要であり、地
域での防災を含め、そ
れぞれ役割を分配して
行く必要がある。町内
会に入っている事で自
分達の役割があり、町
内会の共感作りを地域
と連携しながら加入促
進に繋がるよう検討し
てまいります。

君島

夕張市でも
町内会活動
や事業案内などをホー
ムページにアップして
はどうかと思いますが
市長の考えを伺います。

市長

ホームページ
にもアップ
してはどうかと思いま
すが、現段階では町内
会の情報については掲
載されておらず、各町
内会での取り組みが
行われているかなど、
市民の皆様に町内会
活動の参加を呼びか
けたいと考えています。

夕張鹿鳴館について



君島

鹿鳴館の
現状につ
いて質問
します。

夕張鹿鳴館について
は、平成二十九年に夕
張市、一般財団法人北
海道夕張倶楽部、元大
夕張鹿鳴館株式会社の
三者で覚書が締結さ
れ、「本物件の外観、
意匠を保全し、劣化防
止に努める」とあるが、
現地を確認するとその
様な努力が為された痕
跡が無い様に見受けら
れる、所有者とどのよ
うな話し合いをされて
いるのか伺います。

市長

施設の保
存・活用に
ついて劣化防止に努め
るなどの条件を遵守し
ていただくことが確認
されています。

夕張鹿鳴館の施設に
ついては長期休館中と
なっている。市ではこ
れまで元大夕張鹿鳴館
株式会社と連絡を取り
ながら、施設の適正な

君島

これから
本格的な
降雪期に入るが、屋根
の雪降ろしなど契約上
「維持管理」上の補修
及び冬期間除雪費用
は、すべて元大夕張鹿
鳴館株式会社の負担と
する」となっているが
市としてどの様な対応
をするのか伺います。

保存・活用について促
してきている。先方か
らは新型コロナウイルス
感染症の状況を踏ま
え施設の再開に向けて
努力する意向を確認し
た。市としては同施設
が国の登録有形文化財
に指定されていること
や日本遺産で有ります
炭鉄港の構成遺産の一
つになっていることな
ど、歴史的文化的な意
義を踏まえ、施設の適
切な保存・活用がなさ
れるよう、再開に向け
て意見交換を適宜行っ
て参ります。

市長

市としても
冬期間の雪
降ろし等について降雪
の状況に応じ元大夕張
鹿鳴館株式会社と連絡
を取りながら対応して
行きます。

PCRの社会的検査と自費検査補助を 疲弊する学生への給付型奨学金創設を



熊谷桂子

◎感染リスクが高い医療機関や介護施設などのPCR社会的検査について

熊谷 一部自治体で、PCR

社会的検査を実施しているが、クラスターも発生した夕張市においても、感染リスクの高い医療機関や介護施設等への定期的な社会的検査の必要があると思いますが、市長の見解を伺います。

市長 市は、医療資源の確保が最重要課題と考えています。行政検査が集中しても対応できることが重要と考えているため、社会的検査の実施予定はありません。

熊谷 高齢化率が一番高い市として、ぜひ、国や道

として、ぜひ、国や道

に向けて、社会的検査の実施ができるような体制づくりを要求してください。

◎インフルエンザ流行期に備えた対策について

熊谷 厚生労働省の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を見据え、

まずはかかりつけ医に電話相談することを周知徹底し、受診時間や方法を調整のうえ、受診してもらおう体制を構築し、感染拡大を抑え込みたいとして、患者の受け入れ体制の整備を求めています。本市の体制整備の現状について伺います。

市長 今後、発熱がある場合は、かかりつけ医が相談・診療・検査を行うが、かかりつけ医がない場合には、北海道新型コロナウイルス感染症健康相談セ

ンターに問合せいただくよう、広報などで周知しています。本市の市立診療所ではかかりつけでなくても電話相談できる体制を整えています。

熊谷 インフルエンザワクチン

は、市内で十分な量が準備されていますか。

市長 過去三年間

のインフルエンザ予防接種は高齢者の約半数が受けていたが、10月末現在の状況では、例年と比べておよそ三倍となっています。

◎自費PCR検査補助について

熊谷 近隣市町村のように、

高齢化率の高い本市においても、自費検査を希望する市民への補助ができませんか。

市長 本市においては、医療

機関に負荷をかけることにならないため、自費検査を実施する予定はありません。

熊谷 自費検査は国の半額助成があるので、医療体制に余裕ができれば、実施するよう要望します。

◎新型コロナウイルス感染症対応の給付型奨学金制度の創設について

熊谷 「経済的理

由による退学・休学者」が今年度末には30%に急増する見通しと報道されています。意欲ある若者が勉学を続けられるよう、国の支援と合わせて、市独自の給付型奨学金制度を創設し、「学びの支援」の実現をと考えていますが、市長のご所見を伺います。

市長 本市では

従来から貸付型奨学金制度の運用をしてきており、平成30年度に1名の貸付以降、新規の奨学生はいない状況にあり、現

状のコロナ禍で経済的理由での進学や修学の相談もないことから現段階においては制度創設の必要性や緊急性が高いとは考えておりません。しかし、コロナ禍の状況が想定以上に長期化した場合やそれに伴う経済的事情において、懸念される事案の相談があった場合、他自治体における実施状況を踏まえつつ、現行の貸付型奨学金制度の運用改善を行うなど、検討します。

熊谷 国や各大

学からの支援が一定程度あったにせよ、未曾有の状況であり、必要十分な支援は困難であることが予想されます。その際に、故郷からの支援が少しでもあれば、学生のみなさんたちへのエールになります。心の支えにもなります。今後さらなる検討をぜひ、お願いします。

【コラム】PCR社会的検査とは

施設等の利用者への感染を未然に防ぎ、重症化を避けるために、感染者または感染疑いのある方に接触した可能性が高い方に対して、早期に対応すること、施設内でのクラスターを抑止することなどを目的とした検査を実施することで、施設内感染を防ぐための迅速な対応につなげ、職員が安心して業務に従事できるように、福祉サービスを止めない環境を築くための検査です。世田谷区がいち早く実施し徐々に全国に広がっています。

副市長の選任はどうなっているのか

市長 来春の3月定例会市議会に選任議案



今川和哉

今川

財政再生計画の抜本的

見直しを経て、副市長を設置できる状態に戻った
当市ではありますが、現在も理事が副市長としての役割を担っており、その理事の任期は、来年春季までとなっています。職務の空白が生じないよう、現理事の任期満了までに人選を行っておく必要があると思われ、副市長の選任について、現段階の状況をお伺いいたします。

市長

鈴木前市長のもと平成

28年度に行いました財政再生計画の抜本的見直しにおいて、それまで置いていなかった本市の副市長を平成31年4月改選時より改めて置くことといたしました。私が市長に就任する直前に石

炭博物館の模擬坑道が火災に見舞われ、今後の復旧等に多額の経費を利用すると見込んだことから、副市長設置をいったん見送りさせていただき、道からの理事職派遣を令和2年度末まで延長したところでございます。

理事の帰任を来年春季に迎えるにあたりまして、改めて本市に副市長を置くことを考えております。

そのため、私の人脈の中から副市長の職を任せたい、担って頂きたいと思える方に現在要請をしているところでございます。今のところ公表できる段階にはございませんが、「来春の第1回定例会市議会」に副市長選任議案及び関連する条例案を提案させていただく予定でございます。

今川

市長の人脈において

依頼をしたということでしたが、人選・選定において国や道とのやり取り

市長

基本的に市長が

選任する、そして議会にご同意を求めていくものでございますので、その点についての紹介はございませんが、空白が生じないために必要な情報作業スケジュールについては報告させていただいているところでございます。

今川

現在依頼している方

の同意の見込みということにもよるのでしようけれども、公募の考えはなかったか、ということについて、お聞きいたします。

市長

今川議員も従前から

副市長の選任については、民間の方からの登用ですとか、本日も質問頂いた幅広く公募をというご意見をお持ちであったことについては私も承知をしております。その

今川

どのような人物が

夕張市の副市長にふさわしいと考えているか、また現行の理事との違いについてお伺いいたします。

市長

いわゆる副市長に

つきましては、議会の皆様の選任ご同意をいただかなければならないという職にございます。そこが一番の違いだと思いますが、そこで選任ご同意をいただくということ

今川

当市における副市長

の役割はどういったものと考えているかお伺いいたします。

市長

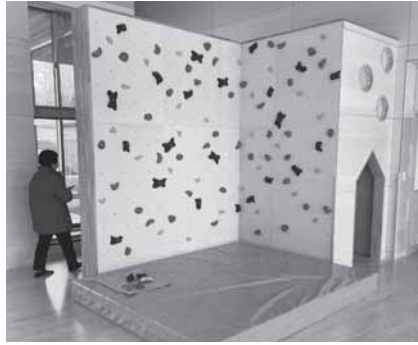
本市は全国唯一の

財政再生団体でありまして、このことから、これまでの経過を十分にふまえ、かつ再生振替特例償還後を見据えた今後のありようを、私とともに考えていただくということが、夕張市の副市長に課せられた重要な役割であると考えております。

【コラム】副市長とは？

地方自治法の改正に伴って、平成19年から元々置かれていた「助役」にかわり「副市長」が置かれることとなりました。従来の助役より法律上権限も強化され、副市長は政策や企画をつかさどること、市長の権限の一部について委任を受けて事務を執行することができると定められています。

認定こども園を視察しました



令和3年4月開園予定



10月29日に議員8名全員で、**令和3年4月開園予定**の認定こども園の内覧にお邪魔しました。

旧清水沢小学校の敷地に新たに建設されたこの施設で最初に目に飛び込んでくるのは、築山に設けられた長い滑り台と芝生がきれいに敷き詰められた園庭です。子どもたちが元気に遊びまわる姿が目浮かぶような素敵な園庭は、十分な広さが確保されています。また、園庭から教室に直接出入りが可能となるように、

様々な配慮もなされていました。

施設内の設備で最も印象的だったのは、遊戯室に設けられたボルダリングウォールです。そして、この壁の奥には、ちょっとした秘密基地になるようなスペースも用意されており、子どもの遊び心をくすぐる造りになっています。

この認定こども園の建設事業費は、約8億900万円（R2.10.6現在）で、このうち約1億7,600万円は企業版ふるさと納税が充てられています。

夕張市議会だより編集委員会

委員長	今川和哉
副委員長	熊谷桂子
委員	君島孝夫
委員	大山修二
委員	本田靖人
委員	千葉勝
委員	高間澄子

(編集委員長)

2019年の市長・市議会議員選挙からまもなく2年と、早いもので現在の夕張市議会議員の任期も折り返しの年となります。

夕張市は過去立候補者が定員割れとなったことはありませんが、全国的に地方議員のなり手不足が深刻な問題となってきました。

是非、市民皆様が選挙の時期だけでなく、当市議会の活動にもっと興味をもっていただき、決して無関係ではないられない政治というものをご検討から自分ごととして考えていただければ有難いと思っております。

編集後記